

2021 年度 (株)ジェイコム埼玉・東日本 仙台局
放送番組審議会 書面審議 議事録

2021 年度の放送番組審議会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、放送番組審議会委員(以下、「委員」という)と事業者との対面での審議は実施せず、事業者側より委員及び学識有識者オブザーバー(以下、「オブザーバー」という)に対して、審議番組ダイジェスト DVD 及び書面をもって現況報告及び J:COM チャンネルの取り組み、放送実績について報告を行い、委員及びオブザーバーより書面にて J:COM チャンネルに対して、意見、要望があった。

意見書の集約および回答については、「株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局」および、番組制作担当部署、「株式会社ジェイコム埼玉・東日本 地域コミュニケーション統括部」により、意見の拝受および内容の検討・審議の上、ご回答させていただきます。

<放送番組審議会委員>※五十音順

相澤 美和 様	浅野 義則 様	今野 薫 様
谷田 至史 様	早坂 美代子 様	渡部 洋平 様

<学識有識者オブザーバー>

宮城大学 事業構想学群 理事兼副学長 教授 共創センター長 風見 正三 様

<審議資料>

◆「2021 年度 (株)ジェイコム埼玉・東日本 仙台局 放送番組審議会 審議番組ダイジェスト (約 1 時間 5 分)」DVD

◆書面審議用紙

<審議期間>

◆資料発送:2023 年 4 月上旬

◆回答書返信締め切り:2023 年 4 月 28 日(金)

<回答者>

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局

局長 稲吉 正美

地域プロデューサー 荒木 洋邦 ・ 遠藤 宏美

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 地域コミュニケーション統括部

制作チーム長 藤原 直軌

<設問・回答>

- ◆問1. レギュラー番組「LIVE ニュース」「つながる News」「WEEKLY トピックス」「杜モリスポーツ」をご覧になって、ご意見・ご感想・課題・改善案などお願いいたします。

(委員/オブザーバー)

- 地域の旬の話題や身近な情報などとても興味深く見ることができた。
スポーツについても地域を元気にすることができるので積極的に取り組んでほしい。
- 地域密着型の情報提供を最重点と位置付けておられる姿勢を感じる内容。
特に絆プロジェクトでの地域大学との連携は今後も深化していただくことを期待します。
- 情報の取り上げ方が地域に密着しており、内容も興味を惹かれるものとなっていた。
網羅的でなくとも、ポイントとなる部分を深掘りするような構成は、むしろ好ましいと感じた。
- 地元のイベントなどが映されていて良いと思いました。
ダイジェストだったので無かっただけかもしれませんが、イベントに足を運びきっかけになるように告知というようなものもあっていいかと思いました。
- 多様な視点から地域の生活情報を取り扱っており、好感度である。
とみやど・いずみ絆プロジェクトなど、地元の産官学民連携の事例を広く紹介頂きたい。

(回答/藤原)

レギュラー番組の方向性につきまして良い評価を頂きありがとうございます。

仙台にはNHKをはじめ民放各社があり、取り上げるニュースの選定も難しい点がありますがケーブルテレビらしい地域密着を心掛けております。

ニュースだけではなく、告知や産官学連携など頂きました改善案を取り組んで参ります

- ◆問2. 震災特番「震災の記憶を継ぐ若者たち」「食で紡ぐ宮城の明日」をご覧になって、ご意見・ご感想・課題・改善案などお願いいたします。

- 仙台市立錦ヶ丘中学校の震災防災教育、教訓「共に生きる」は東日本大震災を後世に伝えていく取り組みは関心させられた。放送内容も充実したものであった。
「食を紡ぐ…」は、復興への道のり、そして新たなチャレンジへ努力している内容であったが、人間の強さは人との助け合いの中にあることを再認識させられた。
- 共同製作ということで、全体として十分な検討の末、まとまりのある構成になっていると思う。
ハードとソフト両面でのテーマ設定や食のプロジェクトの関係者の選定・中学校での多くの子供たちの声など、印象に残る内容です。
- いずれの番組も、良くこのような素材を見つけてきたものだと関心した。着眼点の素晴らしさを感じた。
錦ヶ丘中学校の防災教育への取り組み、下増田すごろく、イチゴ農家とどら焼きなど、関係の方々への声のすくい上げ、構成等非常に丁寧な印象と受けた。率直に良質な番組だと思った。

- 震災を風化させないという点で良い取り組みだと思います。経験したことを身近なところで活かしている事例の紹介などがあれば面白いかと思いました。
宮城の地元の取り組みの紹介が素晴らしいと思いました。
- 震災の番組については、是非今後も継続してほしい。
食の番組については、宮城の要であり、重要。

(回答／藤原)

震災から10年以上が経ち、どこまでが復興なのかという境界線は難しい所です。
当時の記憶も少しずつ風化されていく中、震災特番は毎年の記録として制作していくべきと感じています。テーマに悩む事が多く、委員会の皆様から良い案がありましたら何卒宜しくお願い致します。

◆問3.「J:COM チャンネル 2021 年度の歩み」をご覧になって、ご意見・ご感想・課題・改善案など
お願いいたします。

- 首長のコメントに対しての意見・感想等は控えさせていただくが、今後の放送番組の取り組みとして、地域でがんばる人・団体等の応援番組になれば良いと思う。
また、地域の課題への取り組みについても放送していただければ有難いです。
- 今の若者のテレビ離れや情報の偏り、過多の状況を考えても、より身近な内容にシフトして行く必要があるのではないのでしょうか。
地域でのイベントやそれに関わる人たちを、ていねいに拾うこと、そして視聴者の声を的確に把握することが重要と考えます。ご健闘をお祈りします。
- 首長の年頭あいさつは若干退屈な印象を受けた。
作り手側が何かを訴えよう、伝えようとは思っていないのではないかと感じた。もう少し将来に向けて視聴が楽しみになるような構成となるよう工夫できないものかと感じた。
- 行政の取り組みや首長の抱負は身近に感じる事が難しいので、そういったものの紹介は良いと感じました。
- J:COMは地域密着のメディアとして、地域のリーダーやヒーローをしっかりと光をあてて頂きたいと思います。

(回答／藤原)

各自治体の首長による年頭あいさつは、1年の振り返りや新年の抱負を伺う事で視聴者の皆さまに「この街が今後どう変わっていくのか」を知る機会になればと考えております。
頂きましたご意見を踏まえて、今後改善致します。

本日いただいたご意見をもとにチャンネル編成・番組内容の向上に努め、地域に愛される企業として推進して参ります。

以上